

飼料用イネ展示ほ場視察に JA 阿蘇から来場がありました！

令和3年11月12日
(独) 家畜改良センター
熊本 牧 場

令和3年11月8日(月)、JA阿蘇 青壮年部 長陽支部の6名が、飼料用イネ展示ほ場視察に来場しました。

当場の飼料用イネ展示ほ場では、高糖分・極短穂タイプの新品種「つきはやか」、「つきあやか」など WCS (ホールクロップサイレージ: 実と茎葉を一体的に収穫し乳酸発酵させた粗飼料) 向け品種を中心に、早晚性の異なる19品種を比較できるよう並べて栽培しており、来場者には展示ほ場についての説明を行った後、各品種の違いを見比べてもらいました。

来場者からは、「展示している品種の特徴」、「刈取りの適期」や「定植の際の株間」などについての質問がありました。

今回の飼料用イネ展示ほ場の視察が、今後阿蘇で栽培される飼料用イネ品種選定の一助になれば幸いです。



(展示ほ場での説明の様子)



(展示ほ場での見学の様子)

(注) 当場では、牧場見学を随時受け入れていますので、希望する方は、当場総務課までお問い合わせください。なお、当場では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来場者には事前に発熱や感染症が疑われる症状が2週間程度生じていないことを確認するとともに、来場時の手指消毒、見学中のマスク着用、室内の換気や距離の確保等に取り組んだ上で、職場見学を実施しています。